

<電気電子工学科> (認定課程: 高等学校1種(工業))

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	1 Semester	電気電子工学の専門科目を履修するための前提知識となる数学, 物理の基礎科目を履修することが中心となる。 「工業の関係科目」としては, 「電気電子工学概論」を履修し, 電気電子工学の全体像を概観する。 「職業指導に関する科目」として「キャリアデザイン」を履修し, 業界や企業といった社会を知ると共に自分らしさを知り, はたらくことの意義を自覚できるようにする。 また, 「教職共通科目」の「日本国憲法」, 「個人スポーツ・卓球」, 「インターメディアイト英語コミュニケーションA」, 「アカデミックスキルズ」を履修し, 広い教養と技能を身につける。
	2 Semester	電気電子工学の専門科目を履修するための前提知識となる数学, 物理の基礎科目を中心に履修する。 「教職共通科目」は, 「個人スポーツ・サッカー」, 「インターメディアイト英語コミュニケーションB」を履修する。 12月には, 1年生教職課程履修ガイダンスを受講し, 教職課程履修の道筋や教職課程を履修するための心構えを理解する。
2年次	3 Semester	2年次から, 「教職に関する科目」の履修を開始する。前期は, 「教育原論」, 「教職入門」を履修し, 近代の教育観, 現代教育の意義, 現代の子ども観, 学校観, 学校と教師の課題等について理解する。 「工業の関係科目」は「電磁気学1・実習」, 「電気回路1・実習」を履修し, 静電界, 直流・交流回路の基礎を深く理解する。また, 「電気電子工学実験1」を履修し, 電気電子工学の基礎となる分野について初歩的な実験を通して理解を深めると共に, 基本的な実験機器の取り扱い, 実験の進め方, レポートの書き方などを身につける。
	4 Semester	「教職に関する科目」は, 「学習・発達論」, 「教育課程論」, 「教育の制度と経営」を履修し, 発達と学習の教育的意義, 教育課程(カリキュラム), 教育の法制等についての理解を深める。指導案の作成, 模擬授業も行う。 「工業の関係科目」は「電子回路」(必修), 「電磁気学2・実習」, 「電気回路2・実習」等(選択)を履修し, 電子回路素子の基本特性, 磁界, 電磁誘導, 電磁波, 過渡現象等, 電気電子工学の基礎を修得する。 10月には2年生教職課程履修ガイダンスを受講する。
3年次	5 Semester	「教職に関する科目」は, 「特別支援教育」, 「教育方法論」, 「情報通信技術の活用」を履修し, 特別支援のあり方, 学習指導方法, 情報通信技術の活用法について理解を深め, 教育現場における実践的教育法を身につける。 「工業の関係科目」は, 「パワーエレクトロニクス」, 「電気機器工学」, 「半導体・電子デバイス」, 「電波工学」等(すべて選択)を履修し, 電気電子工学の専門分野の知見を幅広く理解する。 「職業指導に関する科目」として「キャリアマネジメント1」を履修し, なぜ働くのか, プロのエンジニアとはといった就業観について理解を深める。 進学直前の3月に新3年生教職課程履修ガイダンスを受講し, 教育実習依頼校の選定, 自己紹介書作成など, 教育実習に向けて準備を進める。
	6 Semester	「教職に関する科目」は, 「教育相談(カウンセリングを含む)」を履修し, 生徒の心の問題について, 心理学的視点を含め, 具体的な事例を通して理解し, その対応法についても理解を深める。また, 「総合的な学習の時間の指導法」, 「特別活動の方法」を履修し, 生徒の「学ぶ力」や「生きる力」を育む教育方法について理解を深める。 「工業の関係科目」は, 電子材料工学」, 「電力ネットワーク工学」, 「集積回路工学」等(全て選択)を履修し, 更に電気電子工学の専門分野の知見を修得する。
4年次	7 Semester	「教職に関する科目」は, 「教育実習II」(通年), 「生徒指導・進路指導の方法」を履修し, 実習校で実際に講義などの教育活動を体験することにより, 教員として求められる知識や教育スキルを修得すると共に, 教員としての自覚を醸成する。 また, 卒業研究を通じて, 発想・創造手法, 実験手法, 論理的検討手法を経験する。 進学直前の3月に新4年生教職課程履修ガイダンスを受講し, 教育実習の準備を進める。教育実習は, 5月~11月の期間に実施する。
	8 Semester	「教職に関する科目」は, 「教育実習II」(通年), 「教職実践演習(中・高)」, を履修し, 教員として必要とされる知識・教育実践力を身につけることができているかどうかの確認を行いながら, 学級運営や学校における人的・物的マネジメントなどの広い視点から, 教育活動を考えることができることを目指す。 併せて, 卒業研究を通じて, 論理的検討手法, 効果的プレゼン能力, 技術的作文能力を身につける。